

南那珂の普及活動 (普及活動月報)

令和8年2月
南那珂農林振興局
(南那珂農業改良普及センター)

I 管内農業・農村の主な動き

1 第2回南那珂地区農業改良普及事業推進協議会を開催

12日、本年度第2回目となる標記の会議を普及センターで開催しました。管内の関係機関・団体から協議会構成メンバーを参集し、普及センターの令和7年度普及活動状況について報告を行いました。さらに、第8次農業・農村振興長期計画（後期計画 R8～12）における地域基本計画（地域プラン）についても説明を行いました。

意見交換では、かんしょの病害対策や、施設園芸における環境制御システムの推進、GAP取組の現状等様々な意見が出されました。

いただいた多くの意見を次年度以降の普及活動の参考にするとともに、今後とも関係機関・団体のみなさんとともに、より連携した活動に取り組んでまいります。



協議の様子

2 畜産研修会を開催

6日、南那珂地域家畜市場にて、宮崎県農業共済組合と合同で、肉用牛繁殖農家を対象とした畜産研修会を開催しました。研修では、「畜産経営のムリとムダを省く」をテーマに、敷料と堆肥について研修を行いました。

今後も、地域の生産性向上につながる飼養管理技術等について研修を行います。



研修会の様子

II 主な普及指導活動等の取組

1 プロジェクト（基本、専門、重点）に関する普及活動

総1 地域農業の担い手確保と技術・経営管理能力向上による人材育成

1) 認定新規就農者を巡回し営農の状況等を確認

17日及び18日に串間市の11名の認定新規就農者を巡回し、営農状況や経営・技術面の課題・悩みなどの確認を行いました。この巡回は、串間市と連携して実施したもので、全員が課題の解決を図りながら、強い意欲を持って営農に取り組んでいる状況が確認できました。また、担当職員のそれぞれの視点から課題の解決について助言しました。

今後も引き続き、関係機関と連携しながら新規就農者に対する支援を行っていきます。



営農状況の聞き取り

2) 日南市で人員確保に関する研修会が開催

5日、日南市リーダー協議会主催で人材確保に関する研修会が開催されました。研修会では、邦人人材派遣「フルキャスト」、1日バイトアプリ「daywork」、トラベルワークマッチングサービス「おてつたび」、特定地域づくり事業協同組合「AC日南」から、それぞれの仕組み等について説明が行われ、参加者は多様な労働力確保手段について学ぶことが出来ました。

引き続き産地サポートの一環として、関係機関と連携し、労働力確保対策をサポートして行きます。



研修会の様子

総2 南那珂地域における持続可能な水田農業の実現

1) 簡易基盤整備の現地検討会を開催

9日、串間市西前地区において、南那珂地域水田経営体ネットワーク会の活動の一環として、簡易基盤整備の現地検討会を開催しました。

検討会には、ネットワーク会員及び関係機関が参加し、大規模農家の協力のもと、段差のある水田の畦畔除去とレベラーによる整地作業が行われ、施工方法等について意見交換を行いました。

今後は、本検討会の開催を契機に、簡易基盤整備を活用し、大規模水田経営体の農地集約化が進むよう支援していきます。



現地検討会の様子

2) 南那珂地域水田経営体ネットワーク会の県外事例調査

24日、鹿児島県南九州市及び薩摩川内市で、大規模経営に関する事例調査を実施しました。ネットワーク会員が参加し、スマート農機の導入状況や経営戦略などについて意見交換を行いました。また、米粉の製粉事業者への調査を実施し、米粉利用の現状や需要動向、原料として求められる品質について情報収集を行いました。

今後は、本調査で得られた情報をネットワーク会員及び関係機関に共有し、スマート農機導入や米粉用を含めた新規需要米の拡大に向けた支援を行っていきます。



意見交換の様子

3) 串間市大島堰北部におけるタマネギ実証試験ほ場の一斉収穫

25日、串間市大島堰北部において、生産者及び関係機関、総勢18名が参加し、タマネギの一斉収穫を行いました。本作は暖冬の影響により、生育は順調で、玉の肥大も良好でした。

3月には切りタマネギの収穫機の実演会を予定しており、今後の省力化に向けた取組につなげていく予定です。



タマネギ一斉収穫の様子

4) 串間市みのさき地区の電気柵設置が実施

12日と16日に、串間市のみのさき地区で、鳥獣害（イノシシ）対策用の電気柵及び地際強化防草シートの設置が行われました。当日は、効果的な設置方法について、販売メーカーや県鳥獣害被害対策センターの指導を受けながら設置を行いました。

引き続き、鳥獣被害対策に向けた支援を行います。



設置の様子

専1 産地ビジョンに基づいた食用かんしょ産地の維持

1) かんしょの青年農業者学修会を開催

4日、JAみやざきはまゆう地区本部、串間市大東地区本部管内の青年農業者（計6名）を対象に学修会を開催しました。

会では、参加した生産者から7年産の栽培状況の聞き取りや、普及センターから7年産に取り組んだ試験結果の説明を行い、8年産に向けた意見交換を実施しました。その後、抵抗性品種比較試験で栽培したかんしょの食味評価を行いました。生産者より得られた評価も参考に、8年産の品種比較試験を実施していきます。



学修会の様子

3月には、個別支援（苗床巡回など）を実施するなど、次世代を担うかんしょ青年農業者の育成に取り組んでまいります。

専2 マーケットインを意識した産地再編による茶業経営の安定

1) 茶生産者の生産状況確認と意見交換

9日、16日、串間市の茶農家2戸を対象に、JA担当者と連携して、令和7年産における茶園毎の収量・単価データをもとに、茶園毎の収益性や今後の茶園管理及び茶生産の意向について、意見交換を行いました。引き続き茶園毎の課題を確認することで、さらなる収量、単価向上にむけた取組を支援していきます。

専3 10年後の産地を担う畜産経営体の育成

1) 重点対象農家の巡回を実施

10日と17日、日南市及び串間市の重点対象農家（肉用牛繁殖農家1名、酪農家1名）の巡回を行い、粗飼料確保状況の確認や、今後の営農プランについて検討を行いました。

また、重点対象農家のほ場を随時巡回し、生育状況の確認を行いました。

引き続き、定期的な巡回を行い、生産性向上を目的とした牛の飼養管理について支援します。

2) 親子承継の支援を実施

18日、日南市で親子承継を希望している農家について、承継計画作成に向けた検討を行いました。

今後、実際に承継計画の作成を行い、円滑な親子承継について支援します。

専4 産地ビジョンに基づいた果菜類(きゅうり・ピーマン)の生産性向上

1) 冬春ピーマン指導担当者会への参加

5日、尾鈴地区にてピーマン指導担当者会が開催され、管内からは3名が参加しました。現地検討のほか、各地区の生育状況を共有。各地区で課題となっている害虫への対策や、新規薬剤・病害抵抗性品種の効果について活発な意見交換が行われました。

検討された防除技術を基に、次作の防除暦の改訂と現地指導を行っていきます。



現地検討の様子

2) ピーマン部会串間支部品質向上研究会が県外視察を実施

25、26日、当研究会が高知県の先進地視察を実施しました。管内からは串間支部の生産者9名が参加し、環境制御技術や天敵導入等、効率的な栽培管理について学びました。また、視察先の生産者とも活発な意見交換が行われました。

今回の視察で得た先進事例を今後の栽培指導に反映し、産地の品質・収量向上に向けた支援を継続していきます。



現地視察の様子

専5 環境制御によるマンゴーの品質向上と露地かんきつの経営安定

1) 中晩柑展示会で有望中晩柑類及び省力化技術の紹介

6日、総合農業試験場亜熱帯作物支場において、南那珂地区営農振興協議会果樹部会主催の中晩柑展示会を開催しました。

会では、総合農業試験場及び管内生産者が栽培した果実約100点の展示や新品种「瑞季」、「汐里」、「あすき」等の試食、ラジコン草刈機及び剪定鋏・鋸の実演、亜熱帯作物支場内見学を行い、管内外から多くの来場がありました。

今後も新品种や新技術を周知する機会をつくり、地域の果樹振興を図ります。



果実展示



果実試食



ラジコン草刈機実演

2) 第4回果樹技術員会を開催

26日、果樹技術員20名の参加のもと、標記会議を開催しました。

会では、労働力・担い手確保に向けた取組やかんきつにおけるドローン防除効果検証、展示ほの実績・計画等について検討し、多くの意見が挙げられました。

今後も関係機関と連携し、果樹産地の維持発展を目指します。

専6 南那珂花き産地戦略に基づいた産地育成

1) 南那珂地区花き展示品評会が開催

13～15日、「道の駅きたごう」にて南那珂地区花き振興会主催の展示品評会が開催されました。

管内花き生産者22名からスイートピー、スプレーストック、トルコギキョウなど計45点が出展されました。

多くの観光客や地元の方が来場され、大いに管内花きのPRとなりました。



品評会の様子

2) スイートピー県産品点検を実施

27日、JAみやざきはまゆう地区本部と共に「なにお花いちば」にてスイートピーの県産品点検を行いました。

関西地方に送られた南那珂地域を含む5地域6戸の県産スイートピーについて、品質調査や外箱等の資材の調査を行いました。

結果については、花き技術員会や栽培講習会等で共有する予定です。



点検の様子

2 プロジェクト（基本、専門、重点）以外の普及活動

1) 串間市しょうが研究会の実績検討会が開催

5日、市長も出席し「串間市しょうが研究会の令和7年産実績検討会」が開催されました。会では出荷実績の優秀な生産者の表彰や関係者から情勢報告がありました。

当研究会のしょうがは、加工・業務用向けに出荷されていますが、7年産は6月からの気温上昇や少雨による乾燥など気象の影響を大きく受けた年となり、一部で根茎腐敗病等の症状も見られました。一方で、かん水を行ったほ場では、約7t/10aの収量を確保できた生産者も見られました。

今後も引き続き収量及び品質向上に向けて、関係機関、生産者と一体となって取り組んでまいります。



表彰の様子

2) 南那珂地域放牧研究会視察研修が開催

24日と25日、串間市畜産技術員会と合同で、南那珂地域放牧研究会の視察研修が開催されました。

西臼杵型放牧ネットワーク会員（日之影町及び高千穂町）及び（有）富貴茶園（大分県）の計3カ所を視察し、放牧地の造成や維持、特に冬期の飼養管理の方法について意見交換を行いました。

今後も放牧技術の向上に向けた支援を行います。



視察の様子

農業者、漁業者、県民の皆さまの「知りたい！伝えたい！相談したい！」にお応えします！

農業・水産業に関する
→ 多様な情報をホームページでわかりやすく提供！
→ タイムリーな情報をSNSなどを活用して発信！
→ 皆さまの思いや意見を集約！

ひなたMAFiN
Miyazaki Agriculture and Fisheries Navigation

ひなたMAFiN 検索

メルマガ登録はこちら